営農技術情報

令和８年８月３日
宗谷農業改良普及センター
本所（TEL01634-6-1414）
北部支所（TEL0162-82-2119）

搾乳衛生管理・飲水箇所の清掃

気温と湿度の上昇から、畜舎内は細菌が増殖し、乳房炎が発生しやすい状態にあります。搾乳衛生管理に気をつけましょう。また、搾乳牛は夏季に一日 100L 以上飲水します。飲水箇所は清掃し、牛がストレスなく飲水できる環境を整えましょう。

１　搾乳衛生管理

（１）搾乳手順

- 乳頭ていねいに清拭し、乳房炎の新規発生を予防しましょう。
- 大腸菌性乳房炎が疑われる症状が認められた場合は、速やかに獣医師へ診療を依頼しましょう。
- 抗菌性物質混入防止のため治療牛のマーキング（カラースプレーやマークバンド等）を確実に行い、搾乳作業者間で連絡と確認をしましょう。

（２）搾乳機器

- ミルカーシステムの洗浄・殺菌工程、洗剤・殺菌剤の濃度や水温、水量に問題がないかチェックしましょう。
- 搾乳ユニットの汚れやすい部分は分解して手洗浄を行い、定期的な点検・整備をしましょう。消耗品は適切な時期に交換しましょう。

（３）バルククーラー

- 搾乳前にはバルククーラー冷却装置の起動、排出コックの確認をしましょう。
- 暑い時期こそ、処理室の扉の開放やフィルターの清掃などにより、冷凍機の排熱を促進しましょう。
- 洗浄後は水滴の付着が多くないかなど、内部の状況を毎回チェックしましょう。

２　飲水箇所の清掃

- 牛がいつでも新鮮で衛生的な水を飲めるように、こまめな清掃を実施しましょう。
- 吐水量を確認し、牛に十分な量を供給できているか確認しましょう。
- 水量が不足している場合は、簡易水槽の増設や給水配管の口径を太くするなどの整備を検討しましょう。

普及センターHP
もご覧下さい